

【樹木の部屋】

トウカエデ (ムクロジ科カエデ属 *Acer buergerianum*)

和名：トウカエデ (唐楓)

別名：サンカクカエデ (三角楓)、ミツバカエデ (三ツ葉楓)

英名：trident maple

ムクロジ目 落葉高木

原産地：中国

花言葉：豊穡

花色：淡い黄



← 写真-1 トウカエデ

撮影日：2019年07月05日

撮影場所：大奈良市郊外にて

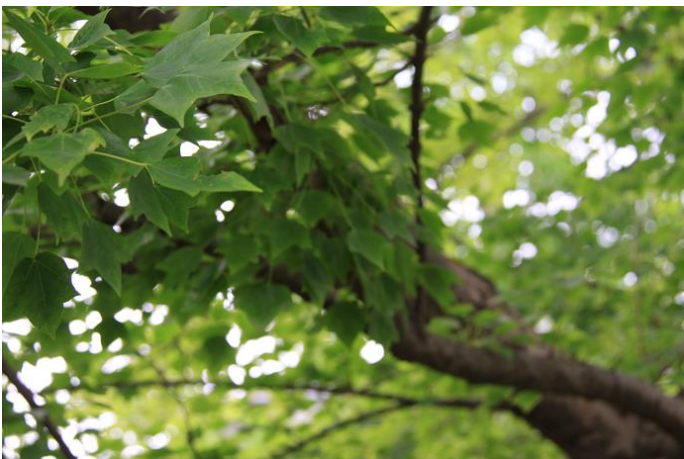
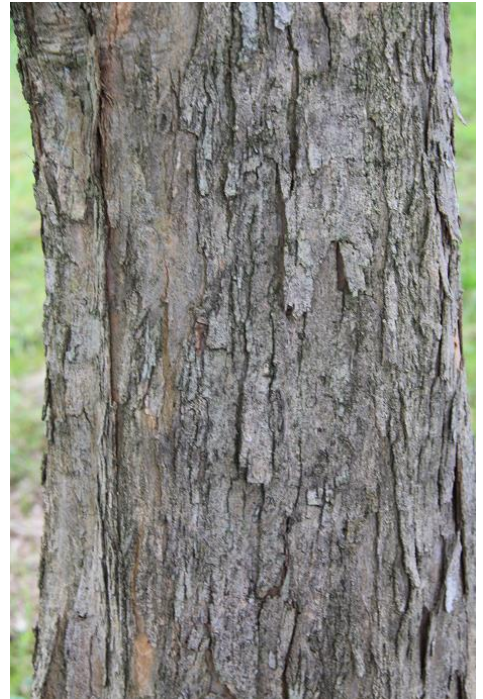
撮影者：M さん

↘ 写真-2 トウカエデの幹

撮影日：2019年07月05日

撮影場所：奈良市郊外にて

撮影者：M さん



← 写真-3 トウカエデの小枝

撮影日：2019年07月05日

撮影場所：奈良市郊外にて

撮影者：M さん

→ 写真-4 トウカエデの果実

撮影日：2019年07月05日

撮影場所：奈良市郊外にて

撮影者：M さん



← 写真-5 トウカエデの葉

撮影日：2019年07月05日

撮影場所：奈良市郊外にて

撮影者：M さん

江戸時代(享保年間)に日本に渡来したそうで、樹皮は灰褐色。成長とともに樹皮は縦に裂け剥がれるのが特徴で、樹高は10m～20mの高木になります。

葉身は倒卵形で、上部が浅く3裂し、水かきの付いたアヒルの足のような形の葉が対生します。表面には光沢があり、成木では全縁で、大きな波状になりますが、幼木の葉の縁にはゆるい鋸歯があります。基部から3主脈が出ます。

若葉は赤みがかった色で、秋に紅葉もしくは黄葉します。花は淡黄色5弁で、散房状につけ、4月～5月、若葉が完全に開いた頃に咲きます。雄花(雄蕊のみ)と両性花(雄蕊と雌蕊がある)が混在し、果実は2枚の翼果で平行又は鋭角に開き秋に結実します。

成長は早く、強健で、樹形は立性で耐寒性も高く、日本では庭木その他、紅葉が美しく大気汚染などの公害にも強いので、公園樹や街路樹としてよく用いられています。

芽吹く力が強く、枝もよく伸ばすのでスペースに応じて小さくまとめることはできますが、樹形を乱す徒長枝は積極的に切ります。樹形が出来上がってしまったからは、大がかりな剪定は避け、場所に余裕があれば、自然樹形で楽しむのが一番だそうです。剪定の適期は5月中旬～7月、11月下旬～12月です。

園芸品種として、葉が桃から白、黄緑、緑、赤に変化する花散里(メープルレイナー)や斑入り品種などがあるそうです。